

## パッチプログラム導入方法

- ※ パッチプログラムは、自己研修CDをインストールした後に導入してください。
- ※ Windowsへのログインは、自己研修CDをインストールしたユーザと同じユーザで行ってください。
- ※ 自己研修システムを終了させてから導入してください。
- ※ 研修が途中まで進んでいても導入できます。履歴は消えません。

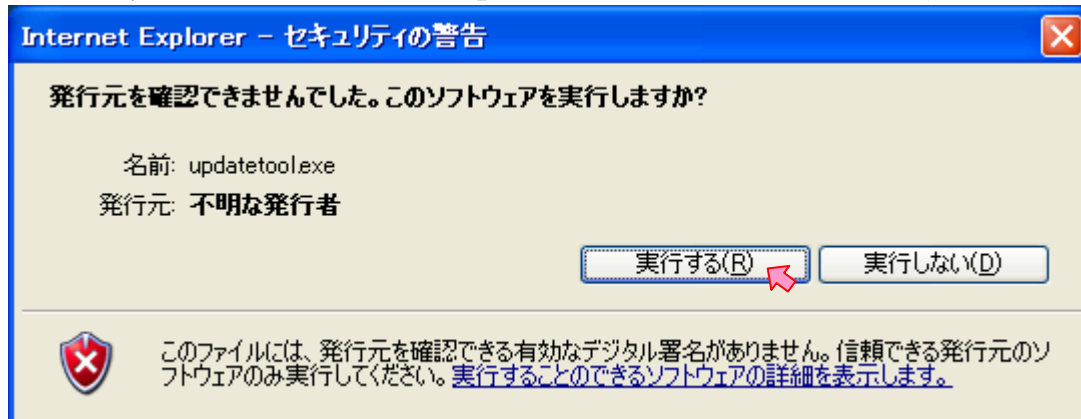
1. 導入したいパッチプログラムをクリックする。

パッチNo	内容	対応Version
2007001	起動抑制プログラムの緩和、終了ID表示修正など	2007年版

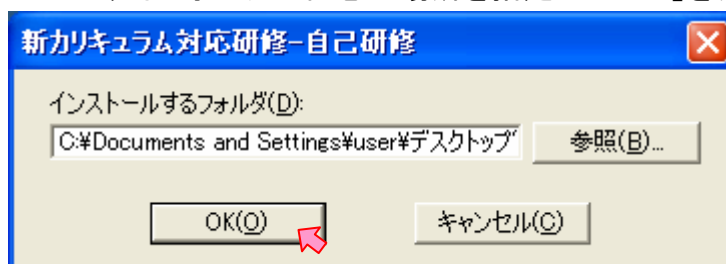
2. ダウンロードの画面で、「実行」をクリックする。



3. セキュリティの警告の画面で、「実行する」をクリックする。(環境によっては表示されない)

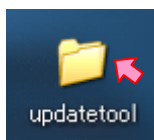


4. インストールするフォルダに任意の場所を指定して「OK」をクリック。デフォルトは「デスクトップ」。

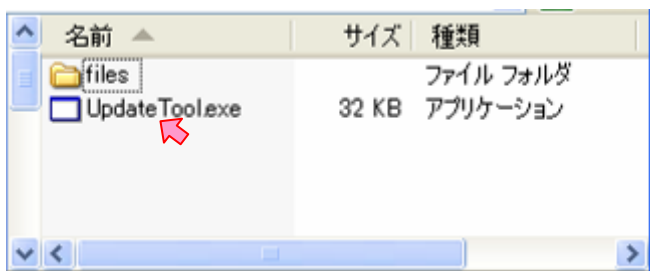


## パッチプログラム導入方法

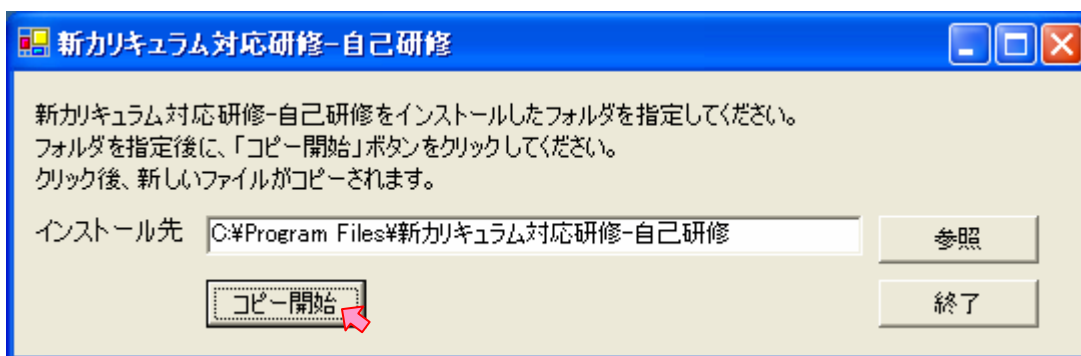
5. 4で指定した場所(デフォルトはデスクトップ)にできた「updatetool」フォルダを開く。



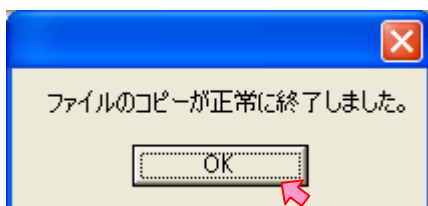
6. 「updatetool」フォルダ内の「UpdateTool.exe」をダブルクリックして実行する。



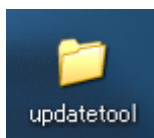
7. インストール先に、自己研修をインストールしたフォルダを指定して「コピー開始」をクリック。デフォルトはProgram Filesの下になっている。



8. 終了メッセージが表示されたら「OK」をクリックして、終了。



9. 4で作成した「updatetool」フォルダは削除して結構です。



※ 自己研修を実行して動作を確認してください。